

UNIVERSIADE GWANGJU 2015 REPORT 3

(7/1)

7月1日(水)

9:00 選手村発のバスで忠州ボートコースに向け出発

9:10 忠州ボートコース到着。各クルーごとに準備を開始し乗艇練習開始。

いよいよ現地での本格的な練習の開始日です。世界に向け萌え出る日本の若い力を象徴するかのような、ライトグリーンを基調としたデザインのユニバーシアード日本代表ユニフォームに身を包んだ選手たちがリラックスした雰囲気では会場入りし、各クルーごとの準備を済ませ颯爽と水上に繰り出していました。



リラックスした表情で会場入りする日本代表選手たち。正面左からLW2x大石選手(株式会社中部プラントサービス)、LM4-荒木選手、林選手(共に日本大学)



乗艇練習をするLM2xクルー。
左からB大塚選手(日本大学)、S長田選手(早稲田大学)



乗艇練習をするLW2xクルー。
左からB富田選手(明治大学)、S大石選手(株式会社中部プラントサービス)



乗艇練習をするLM4-クルー。
左からB荒木選手、2林選手、3志賀選手、S佐藤選手(いずれも日本大学)

12:00 忠州ボートコースから選手村へ出発

12:15 選手村到着、昼食

15:30 榎田コーチ、今次技術スタッフが先発してコースへ移動(艇の微調整のため)

16:00 選手村から忠州ボートコースへ出発

午後のバスは、どの国も涼しい時間帯を狙ってきたせいか、非常に込み合い出発5分前にはすでに満員状態となり乗れない国も出るほどでした。日本チームは早めに集まる良い習慣になっていたため、無事全員乗り込み予定通り練習することができました。

午前中は日本の梅雨時期(こちらでもそのようですが)のような蒸し暑い気候でしたが、午後には日差しが強くなり空気も乾燥してきました。時折強い風が混じる中、選手たちは午前引き続き乗艇練習を行い、徐々に調子を上げて行っております。



昼食時にもコミュニケーションをとるLW2xクルーと榎田コーチ。よく話し合っております。



年々設備が整っているという忠州ボートコース。青い支柱が水中に打ち込まれ伴走路が整備されています。



綺麗に整備されたブイの中を疾走するLM4-クルー。
左からB荒木選手、2林選手、3志賀選手、S佐藤選手(いずれも日本大学)

強い日差しの中、調子を上げていくLM2xクルー。

左からB大塚選手(日本大学)、S長田選手(早稲田大学)





LW2xクルーの力強いドライブ。
左からB富田選手(明治大学)、
S大石選手(株式会社中部プラ
ントサービス)

参加国もかなり集まってきてお
り、帰艇棧橋も込み合いを見せ
てきた。



18:45 忠州ボートコースから選手村へ出発

19:00 選手村に到着

到着後、選手1名が抜き打ちのドーピング検査を受けることになりました。世界で強くなる過程では避けては通れない道とはいえ、トレーニング後の疲労と空腹の中、長い待ち時間には閉口しましたが、対象となった選手は落ち着いてしっかりとした対応をしてくれました。